

— 論文要旨 —

表題	コミヤマスマミレの謎を追う
----	---------------

学校名	兵庫県立小野高等学校	
共同研究	グループ名	スマミレ班
	代表者名	山口 夏巳
	研究者数	7人

< 要旨 >

コミヤマスマミレ (*Viola maximowicziana*) は無茎種で柱頭の形からミヤマスマミレ節 (sect. *Patellares*) に分類されている。

しかし、葉の色や質、毛の生え方、非常に暗い場所に生育する点など、ミヤマスマミレ節の他種と異なる形態を持つ。そこで私たちはコミヤマスマミレの柱頭の形を観察し、生育場所を調査、照度の測定を行った。

さらに葉から DNA を抽出し、葉緑体 DNA の *matK* 領域および *trnL-F* 領域の分子系統解析を行った。その結果、コミヤマスマミレはミヤマスマミレ節ではなく、ツクシスマミレ節 (sect. *diffusae*) に分類される可能性が高いことが示唆された。

この過程でマルバスミレ (*V. keiskei*) もミヤマスマミレ節ではなく、ツクシスマミレ節である可能性が出てきた。柱頭を観察したところ文献にあるほど明確な形態の差は見られなかった。

今後、染色体の観察や核 DNA の分子系統解析などを詳しく行い、これらスマミレの分類を詳細に検討していきたい。現在、植物園の協力を得て、コミヤマスマミレに似た野生絶滅種オリヅルスミレ (*V. stoloniflora*) の分析も始めている。これについても興味深い結果が得られている。